

様式 3

平成 2 4 年 度 第 1 回 学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

鳥取県立倉吉東高等学校

学校長 牧 尚志

評 価 日		平成 2 4 年 5 月 2 9 日 (火)			
委 員	氏 名	年 齢	性別	資格・所属等	委員長
	石 田 正 紀	5 9	男	倉吉市立東中学校長 (中教)	○
	青 山 真 知 子	3 6	女	倉吉市立河北中学校 P T A 役員 (地域代表)	
	武 本 智 美	4 8	女	倉吉東高保護者 (保護者代表)	
	小 谷 次 雄	7 2	男	学校評議員	
	寺 坂 和 利	5 2	男	学校評議員	
	名 越 宗 弘	5 0	男	学校評議員	
評 価 ・ 提 言				学校の所見・改善策等	
1 学校経営方針について 倉吉東高は勉強ばかりだというイメージが周囲にも強いが、この「倉吉東高のかたち」の概念図はわかりやすい。勉強・進学だけではなく、人間性を高める教育に力を入れていることや、そのための様々な取り組みをもっと発信してはどうか。 2 平成 2 4 年度年間評価計画について 特になし。 3 平成 2 4 年度学校自己評価表について 「協同的な学び」と「倉吉東高のかたち」にある「主体的な学習者の育成」とはどのような関係にあるのか。 「協同的な学び」はこれまで取り組んできたことはないのか。 「協同的な学び」のイメージがつかみにくい。 「協同的な学び」の手法には、教科によって向き・不向きがあるように思われる。 「協同的な学び」の項目に関しては、成果指標が難しいと思われるがどうか。				そうした固定的なイメージを解消しようと機会を捉えて情報発信・学校公開等に努めているが、なかなか難しいのが現状である。しかしながら、今後も工夫を重ねたい。 「協同的な学び」は「主体的な学習者」を育成するための手段である。現在、生徒たちの学びが受け身的なものにとどまっているという危機感があるため、自ら考え、自ら学ぶ姿勢へと変化させるための手法として今年度から本格的に取り組むことにした。 初めての取り組みであるため、様々な問題が生じることは予想されるが、現状を変えるには積極的にトライすることが必要である。生じた問題はその都度改善方法を検討することとして、	

中学校でも「学び合い」をスローガンとして取り組みを始めている。生徒の勉強が確かに受け身的傾向にあり、生徒同士の関わりのなかで、学びの質を高めて行きたいと考えたからである。これが高校、大学、あるいは社会での学びにつながることを期待している。また、互いの意見を述べたり聞いたりする中で培われるコミュニケーション力は現代社会に必須な力である。 企業で経営に携わる立場から言えば、「人間力」を高める倉吉東高の教育の方向性には賛同できる。 海外へ目を向けるべき時であり、特に英語教育の重要性を痛感している。 より高次の学習内容やそうした学びに向かう真摯な姿勢が生徒たちの知的好奇心とやる気を刺激すると考えている。大学等と連携しそのような機会を提供することは考えられないか。 小学校では、家庭学習時間の確保、学力向上のためには、保護者の協力が不可欠であると言われ続けてきたが、倉吉東高では、保護者との関係はいかがか。	前進したい。 また、「協同的な学び」は現在世界中で様々な手法で取り組まれているものであり、固定的・画一的なものはないと考えている。その原理を学び、教科の特性や本校生徒の現状に合った手法を見つけ出したい。そのために理論・授業観察・実践の年間計画を立てて取り組みを開始したところである。 社会で必要な力を企業経営者の立場から伝えていただき、学校経営・学校教育の現場に生かしていきたい。 現在のところ、大学の研究室等と直接連携している例はないが、創立記念日OB講演会、国際高校生フォーラム基調講演・討論会、また、著者講演会等で国内でも著名な研究者を講師として招聘し、生徒たちに高い刺激を与えるよう努力している。また、同様の意図をもって、学術クラスでは、1年次に首都圏研修を企画実施している。 その他にも県が主催する「難関大学勉強合宿」への参加を奨励しており、他校の志の高い生徒から刺激を受ける機会を提供している。 常に授業は公開しているが、小学校のように特定の授業参観日を設けているわけではないので、授業参観者はPTA総会当日でもそれほど多くはない。しかし、保護者が生徒に様々な形で講義を行う「大人の一言」という企画には多くの保護者が参加してくださるし、PTA総会の参加者も6割を超えており、本校と本校保護者の関係は、他校と比較してかなり緊密であると
---	--

	思っている。 学校側としても保護者の協力なくしては学校教育目標は達成できないとして、常に理解を協力を要請している。
--	---